

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成22年3月25日 (2010.3.25)

【公開番号】特開2009-87470(P2009-87470A)

【公開日】平成21年4月23日 (2009.4.23)

【年通号数】公開・登録公報2009-016

【出願番号】特願2007-256665(P2007-256665)

【国際特許分類】

G 1 1 B 5/73 (2006.01)

G 1 1 B 5/70 (2006.01)

G 1 1 B 5/738 (2006.01)

G 1 1 B 5/84 (2006.01)

C 0 8 L 67/00 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 5/73

G 1 1 B 5/70

G 1 1 B 5/738

G 1 1 B 5/84 Z

C 0 8 L 67/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年2月8日 (2010.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 2】

強磁性金属粉末の B E T 法による比表面積 (S_{BET}) は、 $30 \text{ m}^2 / \text{g}$ 以上 $50 \text{ m}^2 / \text{g}$ 未満が好ましく、 $38 \text{ m}^2 / \text{g}$ 以上 $48 \text{ m}^2 / \text{g}$ 以下であることがさらに好ましい。この範囲であれば良好な表面性と低いノイズの両立が可能となる。強磁性金属粉末は必要に応じ、Al、Si、P またはこれらの酸化物等で表面処理を施してもかまわない。その量は強磁性金属粉末に対し 0.1% ~ 10% であり表面処理を施すと脂肪酸等の潤滑剤の吸着が $100 \text{ mg} / \text{m}^2$ 以下になり好ましい。